

平成28年度

兵庫県立視覚特別支援学校

支援部

アイ・あい だより



3月号

春よ来い

いよいよ3月、1年間の締めくくりです。今年度の本校の教育相談や集団活動はいかがでしたか？教育相談や活動を通して、日々の中で子どもたちの成長を感じていただけたら幸いです。これからも支援部では、保護者や担任の先生方とともに、子どもたちの成長を見つめ、ひとつひとつの変化を喜び合いながら、支え合っていきたいと考えています。

ぜひご意見、ご感想をお聞かせください。



教育相談室より

いつも、教育相談にご理解・ご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、来年度の教育相談ですが、4月の相談につきましては、4月1日以降に電話でご予約ください。なお、4月は本校に入学された幼児児童生徒のサポートを行う関係で、ご希望の相談日時や回数が取れないこともありますが、ご理解とご協力のほど、お願いいたします。

5月以降につきましては、校外の教育相談を中心していく予定です。来年度もどうぞよろしくお願いたします。



固定遊具で遊ぼう！！②

支援部の大西です。今月は、2月号の「ブランコ」と「すべり台」に続いて「シーソー」と「ジャングルジム」についてつぶやきます。

○シーソー

シーソーは、最も親しみやすい遊具だと思います。大人は反対側に乗り、準備ができたなら恐怖感を与えないようにソッと子どもを上にあげてあげます。何回かすると慣れてきて、勢いよく上下に動かしても大丈夫！勢いがつくと、上がったたり、下がったりした瞬間に、子どものお尻が一瞬フワッと宙に浮きます。そのフワッと感もシーソーの魅力の1つです。また、下りた瞬間に地面を両足で蹴ることも教えます。



○ジャングルジム

両足が地面から離れるのを視覚に課題のある子どもたちは特に大きな不安を感じるようです。最初は、横歩きから。

同じ高さで横へ横へとカニ歩きをさせます。それほど怖くはないので難しくこなす子どももたくさんいます。ただ、角を曲がる時は手や足を大きく伸ばさなければいけません。少し勇気がいるかな？

次は上へ登ります。てっぺんまで登って一休みしたあとが、最も難しいところ。てっぺんでまたいでから下りてきます。多くの子どもたちは、初めは怖がります。でも、バランス感覚を覚えるのにはとても良い練習です。大人も少しずつサポートを減らしていきます。やがて1人でまたげるようになります。

そして、ジャングルジムをトンネルに見立てて、四つん這いで前進。気がつけば、子どもたちはジャングルジムの中を縦横無尽に動き回ります。



遊具で遊ぶのを初めは怖がる子どもたちでも、数を重ねれば遊具の楽しさが分かります。遊具で遊ぶことは、筋力をつけたり、バランス感覚や身のこなしなどを自然なかたちで学んでいくことにもなります。また、遊びながら友達や先生とのコミュニケーションもはかれます。

大人も童心にかえって、一緒に遊んであげましょう！！